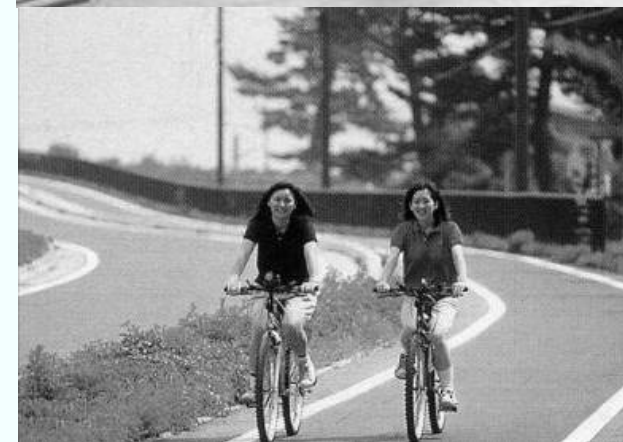


香川における 自転車をめぐる現状と課題

香川の自転車利用を考える懇談会

平成19年 5月21日





目次

課題1	都市交通体系における位置づけが不十分	1
課題2	自転車・歩行者空間が不十分	5
課題3	自転車事故の増加	13
課題4	自転車利用のマナーが悪い	22
参考		32



課題1 都市交通体系における位置づけが不十分

◇都市交通体系における 人-公共交通-自転車-車 の位置付けが不十分

- ・公共交通網は高松駅、瓦町駅を中心に放射状に配置されている。
- ・1日の運行本数はJRが1日約400便（予讃線）、琴電が約250便（高松築港-瓦町間）、バスが600便（中央通り）運行している。
- ・郊外に行くにつれ、公共交通の空白地域が多く、運行本数も少ない。



※バスの便数は、高速バス、高松空港リムジンバスを除く

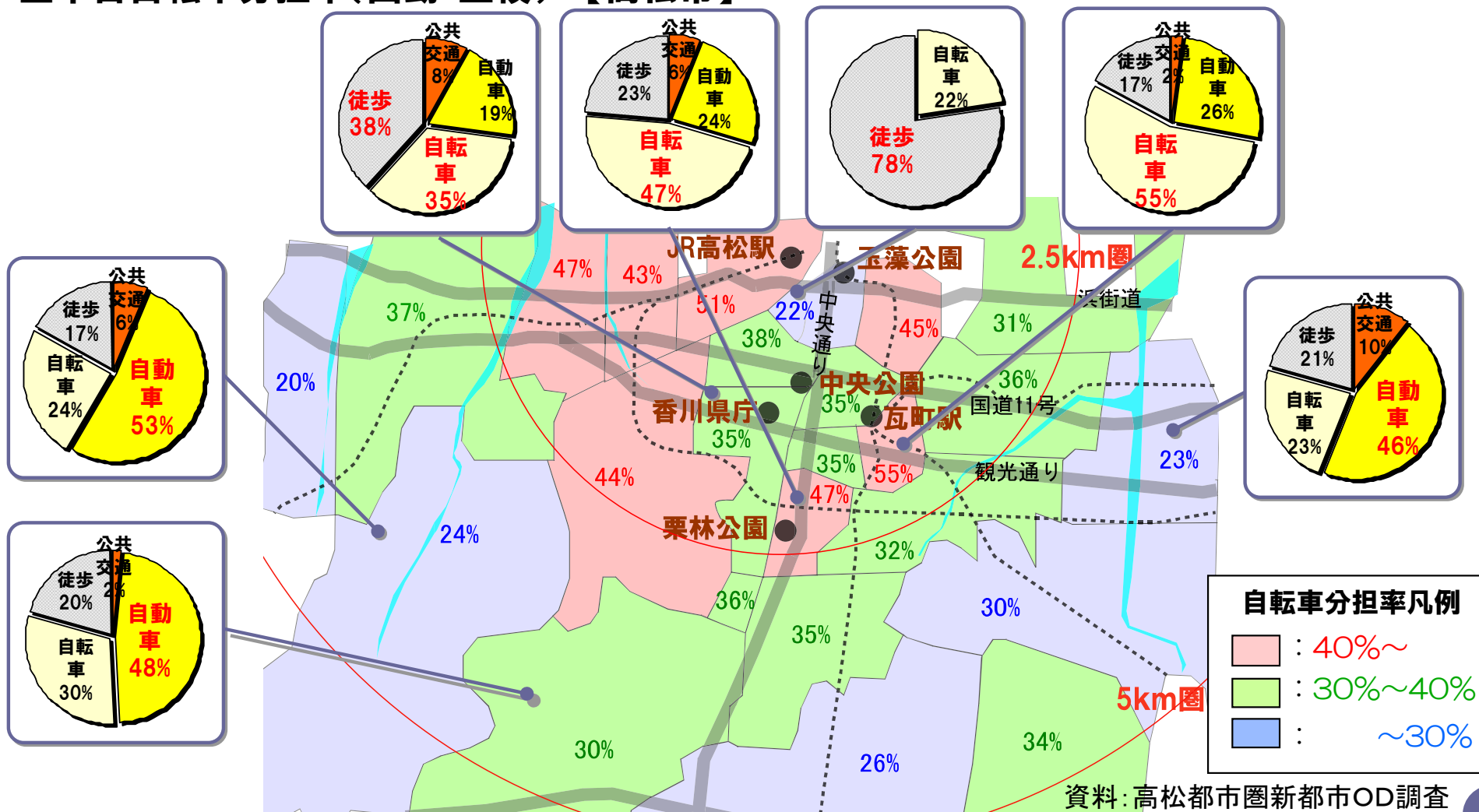


課題1 都市交通体系における位置づけが不十分

◇都市交通体系における 人-公共交通-自転車-車 の位置付けが不十分

- ・高松市中心部の短距離移動（2.5km圏）においては**自転車、徒歩**の分担率が高く、中・長距離の移動においては**自動車の**分担率が高い。

■平日自転車分担率(出勤・登校)【高松市】



資料: 高松都市圏新都市OD調査

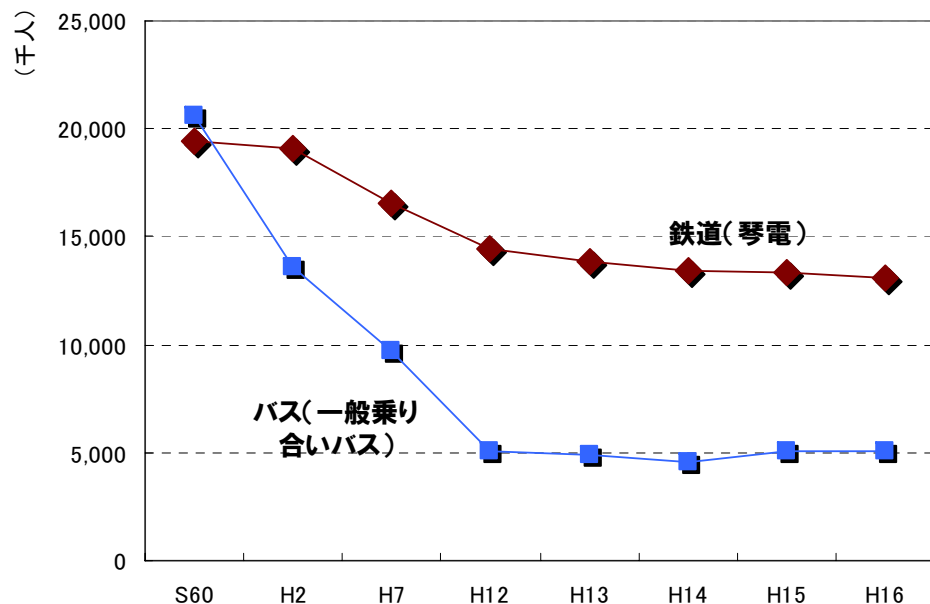


課題1 都市交通体系における位置づけが不十分

◇都市交通体系における 人—公共交通—自転車—車 の位置付けが不十分

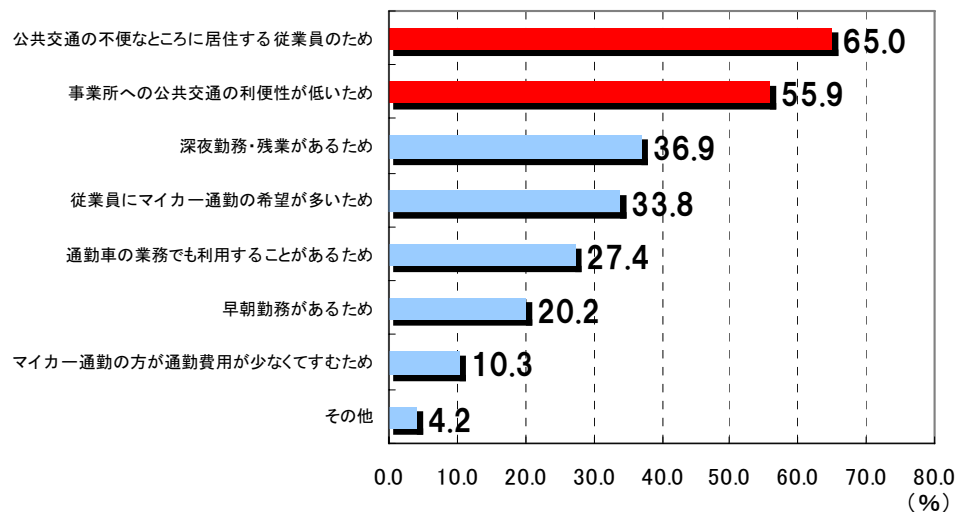
- ・公共交通利用者は減少傾向。特に、バスの減少が著しい。
- ・公共交通の不便さを理由にマイカー通勤を認めている企業が多い。

■公共交通輸送人員推移【香川県】



資料:香川県統計年鑑(香川県/H18)

■マイカー通勤を認めている理由【香川県】



資料:国土政策創発調査(国土交通省)



課題1 都市交通体系における位置づけが不十分

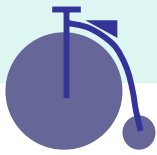
◇都市交通体系における 人-公共交通-自転車-車 の位置づけが不十分

- ・香川県内の市町で自転車に関する整備計画等を策定しているのは高松市のみ。
高松市自転車利用環境整備基本計画（平成13年3月）
高松市自転車利用環境総合整備計画（平成14年3月）

■香川県内(人口5万人以上市町)の自転車に関する整備計画等の策定状況

	計画の有無
高松市	○
丸亀市	×
三豊市	×
観音寺市	×
坂出市	×
さぬき市	×

※各自治体へのヒアリング結果による



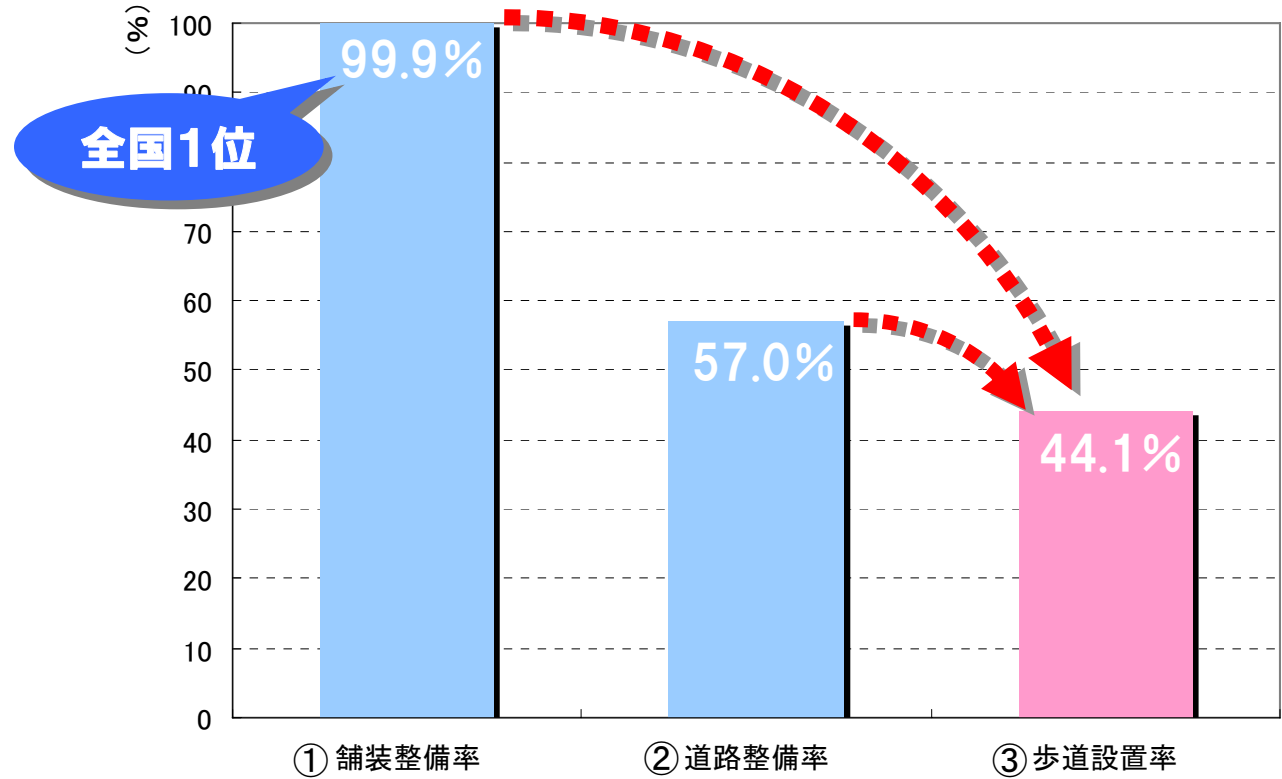
課題2 自転車・歩行者空間が不十分

◇これまでの自動車中心の道路整備による自転車・歩行者空間の不足

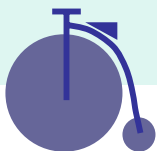
・香川県の舗装整備率は全国1位、道路整備率は57%であるが、歩道設置率は5割を切っており、未整備区間が多く残っている。

■歩道等の整備率（H17）【香川県】

資料：道路統計年報（国土交通省）



- ①: 舗装済延長(簡易舗装を含む)／道路実延長
- ②: 改良済かつ混雑度1.0未満の延長／道路実延長
- ③: 歩道設置道路延長／道路実延長



課題2 自転車・歩行者空間が不十分

◇自転車・歩行者が混在する空間が大半

・香川県では自転車のための道路が整備されていない。今後の道路整備へ反映していくことが課題。

■歩行者・自転車空間の位置づけ

資料:道路構造令 (日本道路協会)



1958年	自転車は車道、緩速車道(自転車・荷車等の通行部分)の通行を前提として設計				
1970年	【幅員】2.0m以上 ※1 地形の状況等の理由によりやむを得ない場合1.5mまで縮小可能	●必要に応じて設置 (自動車及び自転車の交通量が多い道路) 【幅員】2.0m以上	【幅員】2.0m以上	●必要に応じて設置 (自動車の交通量が多く、歩行者の交通量が少ない道路)	
1982年	【幅員】3.0m以上 ※2 地形の状況等の理由によりやむを得ない場合、2.5mまで縮小可能	●必要に応じて設置 →設置要件の緩和 (自転車の交通量が多い道路)	【幅員】3.0m以上		
1993年			【幅員】4.0m以上	歩行者交通量が多い道路: 4.0m以上 その他の道路: 3.0m以上	
2001年		●原則設置		●原則設置	
整備延長	香川	0km(0%)	0km(0%)	78.3km(0.8%)	1,149.0km(11.5%)
	全国	1,666.0km(0.1%)		5,177.0km(0.4%)	100,653km(8.4%)

※道路法に基づく整備延長として集計 ※()は道路実延長に対する割合



課題2 自転車・歩行者空間が不十分

◇自転車・歩行者が混在する空間が大半

■自転車道等の設置の考え方

自転車歩行者道の設置基準

「自転車および歩行者を自動車交通から分離する際の判断基準としては、**自動車の交通量が500台/日以上**であるかどうかが目安となる。」

「なお、自転車が非常に少ない場合には歩道として計画するほうが現実的」

※道路構造令の解説と運用(S57.2) p135

自転車道の設置基準

「**自転車交通量が500～700台/日**を超えるか否かが自転車交通を分離する際の判断基準となる。」

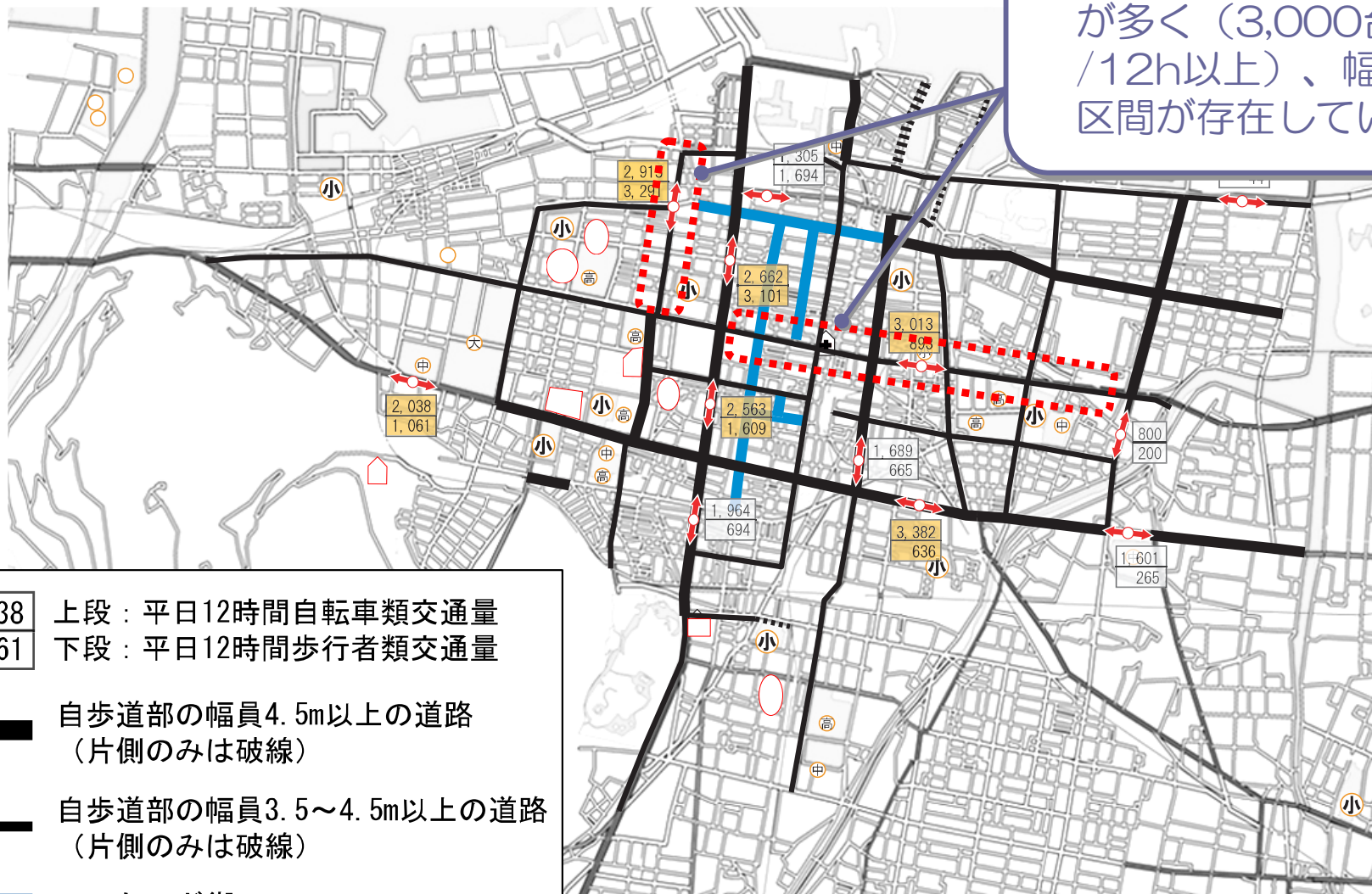
※道路構造令の解説と運用(H16.2) p223



課題2 自転車・歩行者空間が不十分

◇自転車・歩行者が混在する空間が大半

■歩道幅員と交通量【高松市】



・歩行者や自転車の交通量が多く（3,000台・人/12h以上）、幅員が狭い区間が存在している。

2,038	上段：平日12時間自転車類交通量
1,061	下段：平日12時間歩行者類交通量
	自歩道部の幅員4.5m以上の道路 (片側のみは破線)
	自歩道部の幅員3.5~4.5m以上の道路 (片側のみは破線)
	アーケード街

資料:H17道路交通センサス

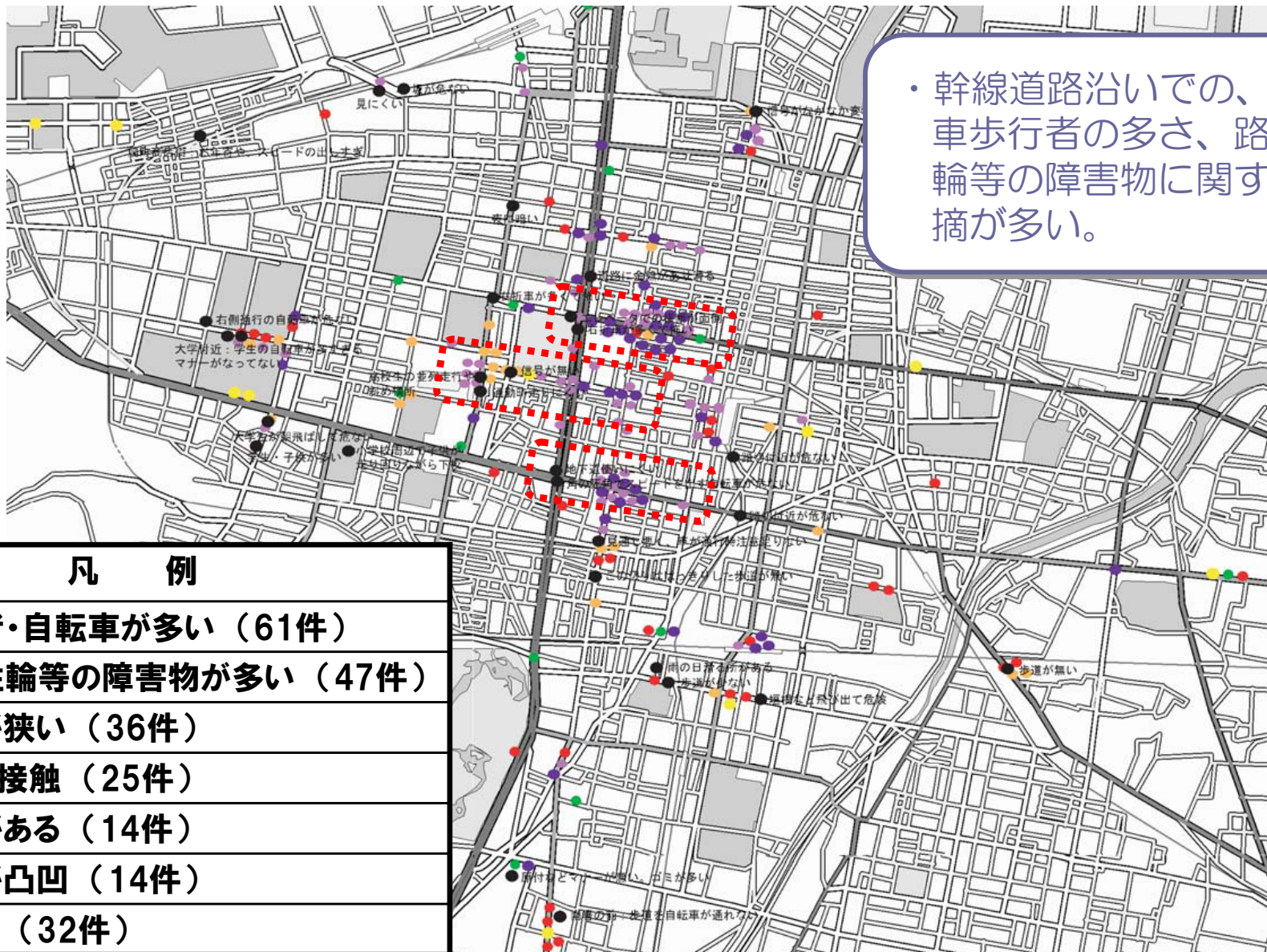


課題2 自転車・歩行者空間が不十分

◇自転車・歩行者が混在する空間が大半

■自転車で走りにくい箇所【高松市】

資料：自転車利用に関するアンケート調査(H19. 5)



・幹線道路沿いでの、自転車歩行者の多さ、路上駐輪等の障害物に関する指摘が多い。

凡 例	
●	歩行者・自転車が多い (61件)
●	路上駐輪等の障害物が多い (47件)
●	道幅が狭い (36件)
●	車との接触 (25件)
●	段差がある (14件)
●	路面が凸凹 (14件)
●	その他 (32件)



課題2 自転車・歩行者空間が不十分

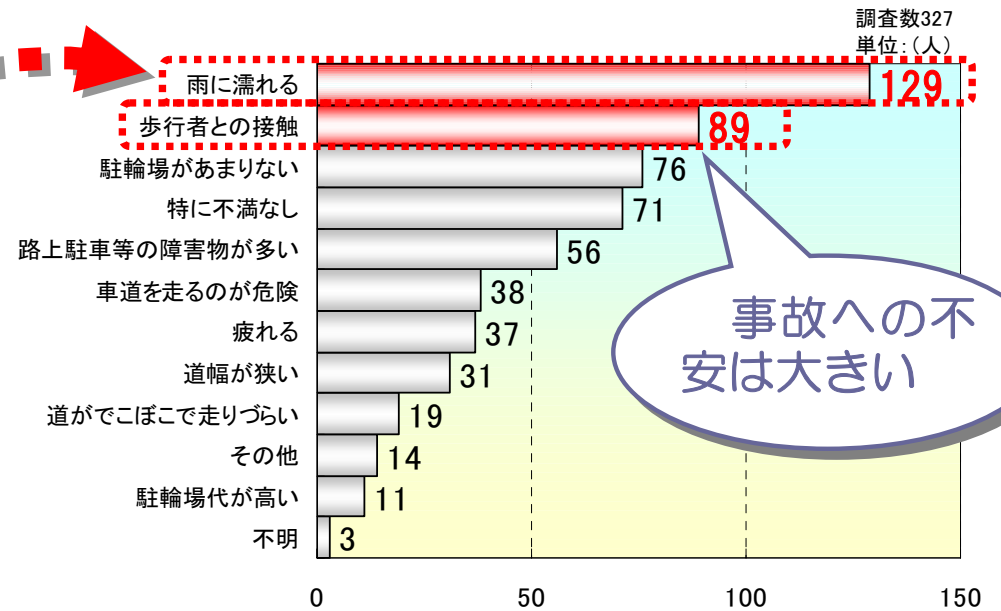
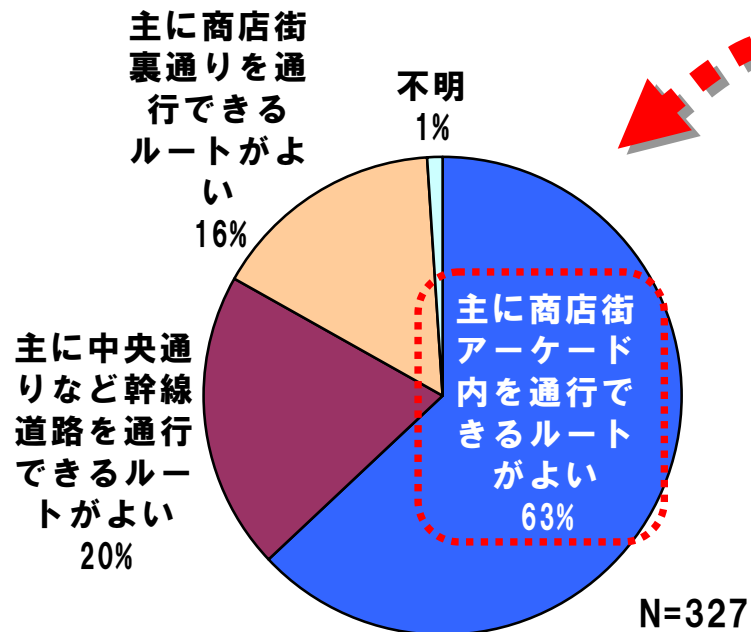
◇自転車・歩行者が混在する空間が大半

- ・アーケードの利用ニーズが高いが、歩行者との接触への不安がある。

アーケードの利用
ニーズが高い

■市内中心部の整備ルートについて【高松市】

■自転車利用の不便な点について【高松市】



事故への不安は大きい

資料:自転車利用者アンケート調査(高松市/H12.3)

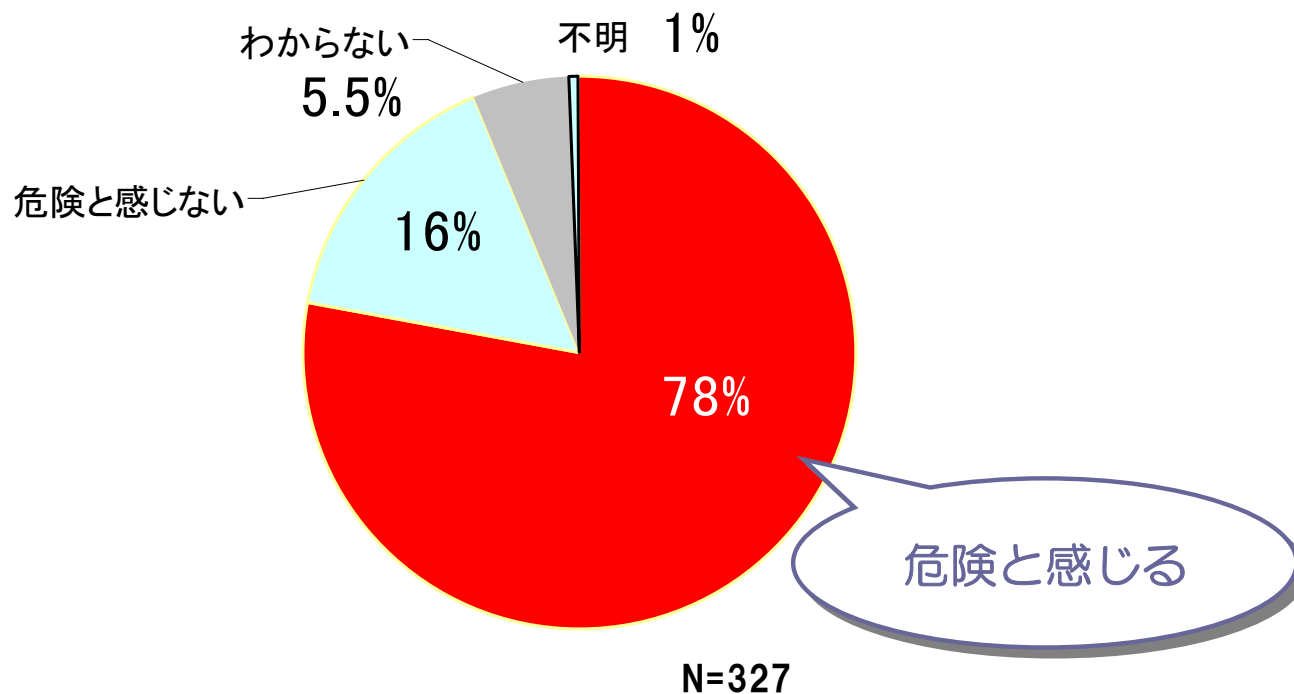


課題2 自転車・歩行者空間が不十分

◇自転車・歩行者が混在する空間が大半

- ・自転車と歩行者と一緒に通行する歩道について、高松市民の78%が危険であると感じている。

■自転車と歩行者と一緒に通行する歩道の危険性【高松市】



資料: 自転車利用者アンケート調査(高松市/H12. 3)



課題2 自転車・歩行者空間が不十分

◇自転車・歩行者車道ネットワークの観点が不足

■高松市中心部の自転車空間と歩行者空間の分離状況【高松市】

■ : 分離されている区間

自転車・歩行者空間が分離されている区間がネットワークされていない。

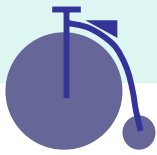


※高松市自転車利用環境整備基本計画(H13)に示される自転車NW

凡例			
計画	国	県	市
分離型	■	■	■
共存型	■■■■	■■■■	■■■■

分離方法が統一されていない



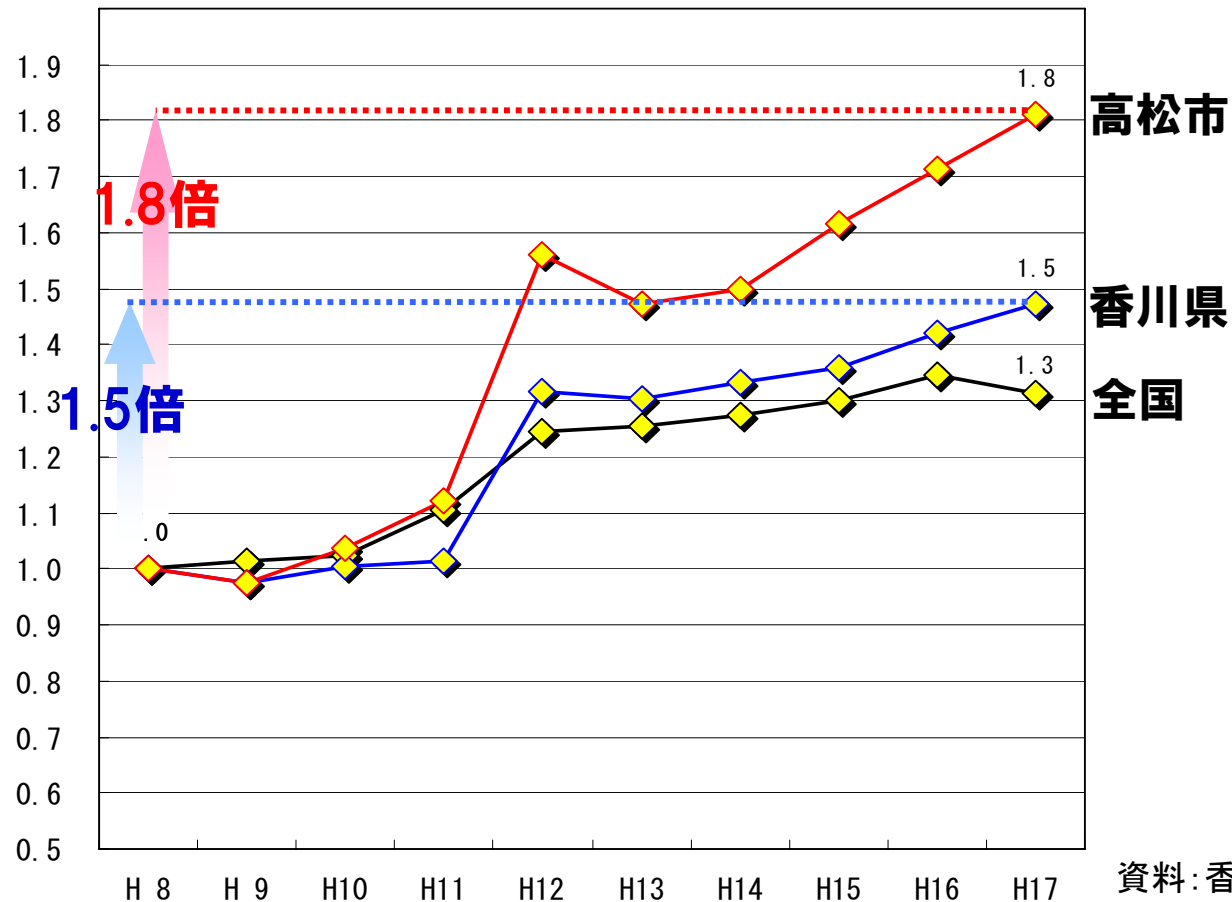


課題3 自転車事故の増加

◇自転車対歩行者事故件数が近年急増

・10年間で、香川県では1.5倍、高松市では1.8倍に増加。

■自転車事故件数の推移(H8~17)【香川県・高松市】





課題3 自転車事故の増加

◇自転車乗車中の死傷者数は全国ワースト1位

・人口1万人当たりの自転車事故件数は香川県が全国47都道府県中ワースト1位。

■事故件数ランキング(市町村別) 【香川県】

1位 香川県

順位	県名	(件/万人)
1	香川県	23.7
2	埼玉県	22.9
3	大阪府	22.2
4	東京都	20.8
5	岡山県	19.0
6	愛知県	18.3
7	群馬県	17.9
8	福岡県	17.7
9	静岡県	16.4
10	兵庫県	16.0
17	愛媛県	13.2
18	徳島県	13.1
21	高知県	11.2
45	岩手県	4.6
46	沖縄県	3.4
47	長崎県	2.6

資料: ITARDA (交通事故総合分析センター/H17)



課題3 自転車事故の増加

◇高松市の自転車事故は全国ワースト1位

・人口1万人当たりの自転車事故件数は高松市が全国276都市中ワースト1位。丸亀市が21位。

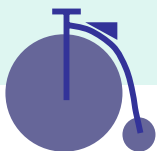
■事故件数ランキング(市町村別)【高松市】

1位 高松市

順位	県名	都市名	(件/万人)
1	香川県	高松市	37.6
2	埼玉県	戸田市	36.9
3	東京都	台東区	36.1
4	埼玉県	草加市	35.8
5	東京都	武蔵野市	31.4
6	埼玉県	上尾市	30.7
7	東京都	立川市	30.4
8	東京都	昭島市	30.1
9	兵庫県	加古川市	29.9
10	大阪府	東大阪市	29.6
21	香川県	丸亀市	27.1
48	徳島県	徳島市	22.4
100	愛媛県	松山市	18.5
111	高知県	高知市	17.9
274	北海道	小樽市	1.8
275	沖縄県	うるま市	1.2
276	長崎県	長崎市	1.2

21位 丸亀市

資料: ITARDA (交通事故総合分析センター/H17)

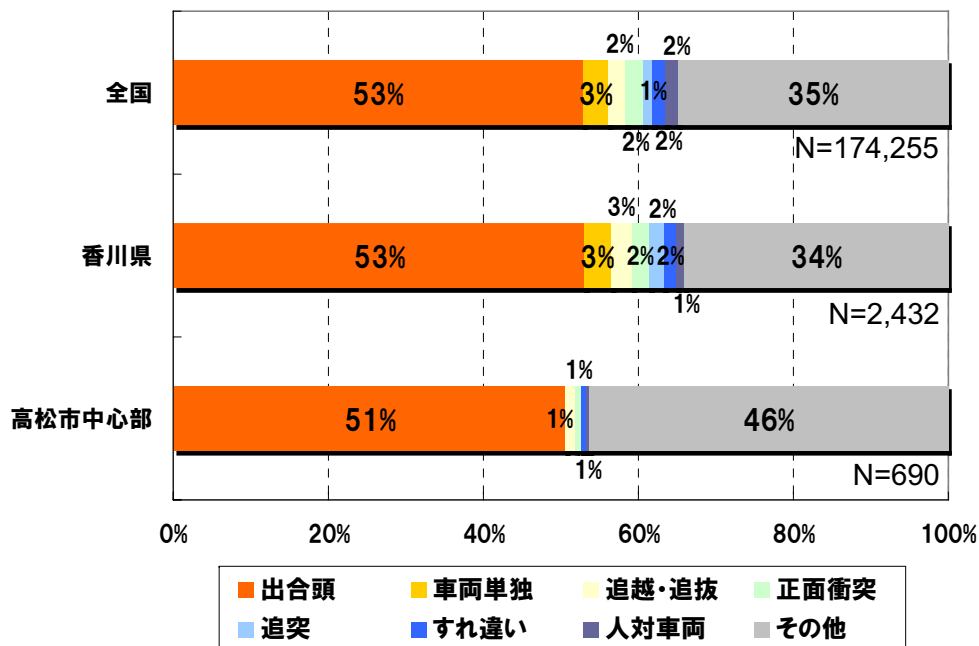


課題3 自転車事故の増加

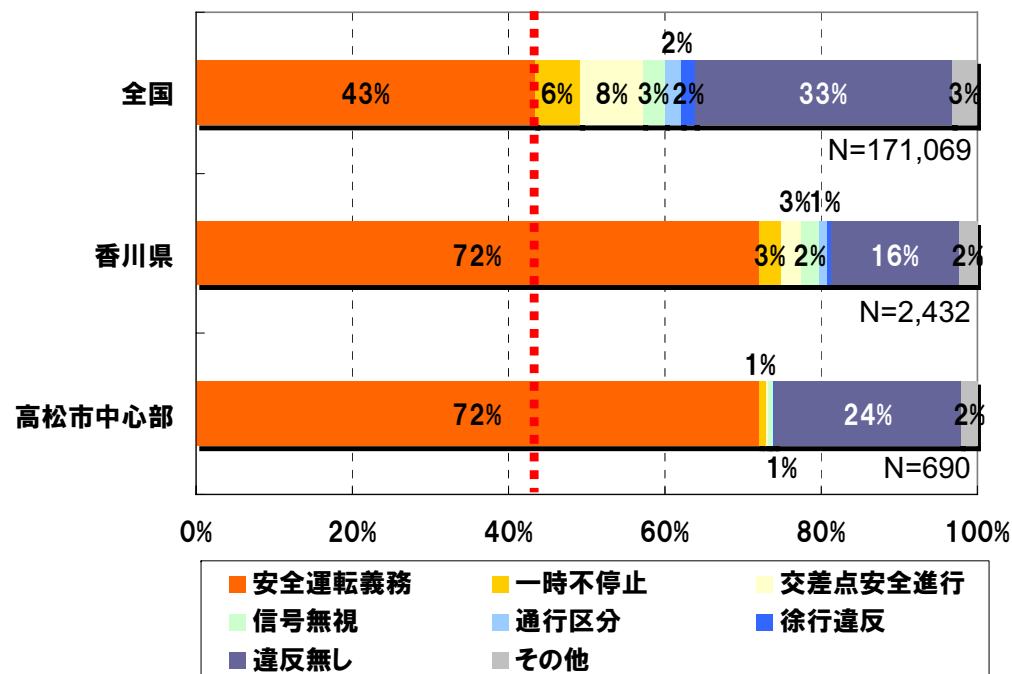
◆香川県・高松市中心部では全国平均に比べ安全運転義務違反が多い

- ・事故類型は出合頭が最も多く、香川県・高松市中心部は全国平均とほぼ同じ傾向。
- ・違反内容は安全運転義務違反が最も多く、香川県・高松市中心部は全国平均にくらべ2倍近く高い。

■ 類型別事故件数



■ 違反別事故件数



資料:平成18年中の交通事故の発生状況(警察庁交通局/H19) 香川の交通(香川県警本部/H17)

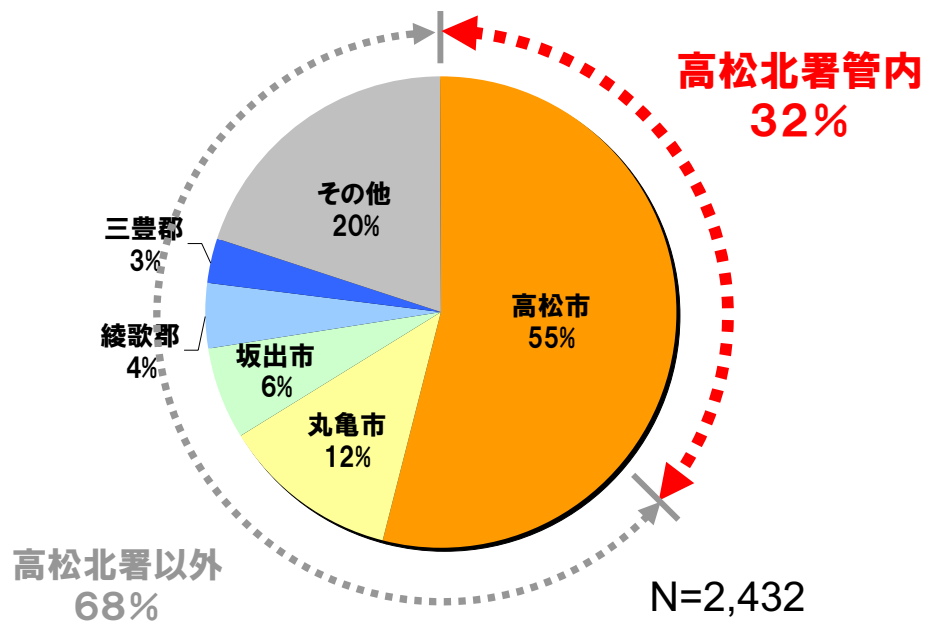


課題3 自転車事故の増加

◆香川県の事故は高松市中心部に集中

- ・高松市に55%が集中している。さらに、2.5km圏に近いエリアを管轄する高松北署管内が32%を占めている。

■市郡別事故件数(H17)【香川県・高松市】



資料:香川の交通(香川県警本部/H17)

■警察署の管轄エリアと2.5km圏



資料:香川県警HPに追記

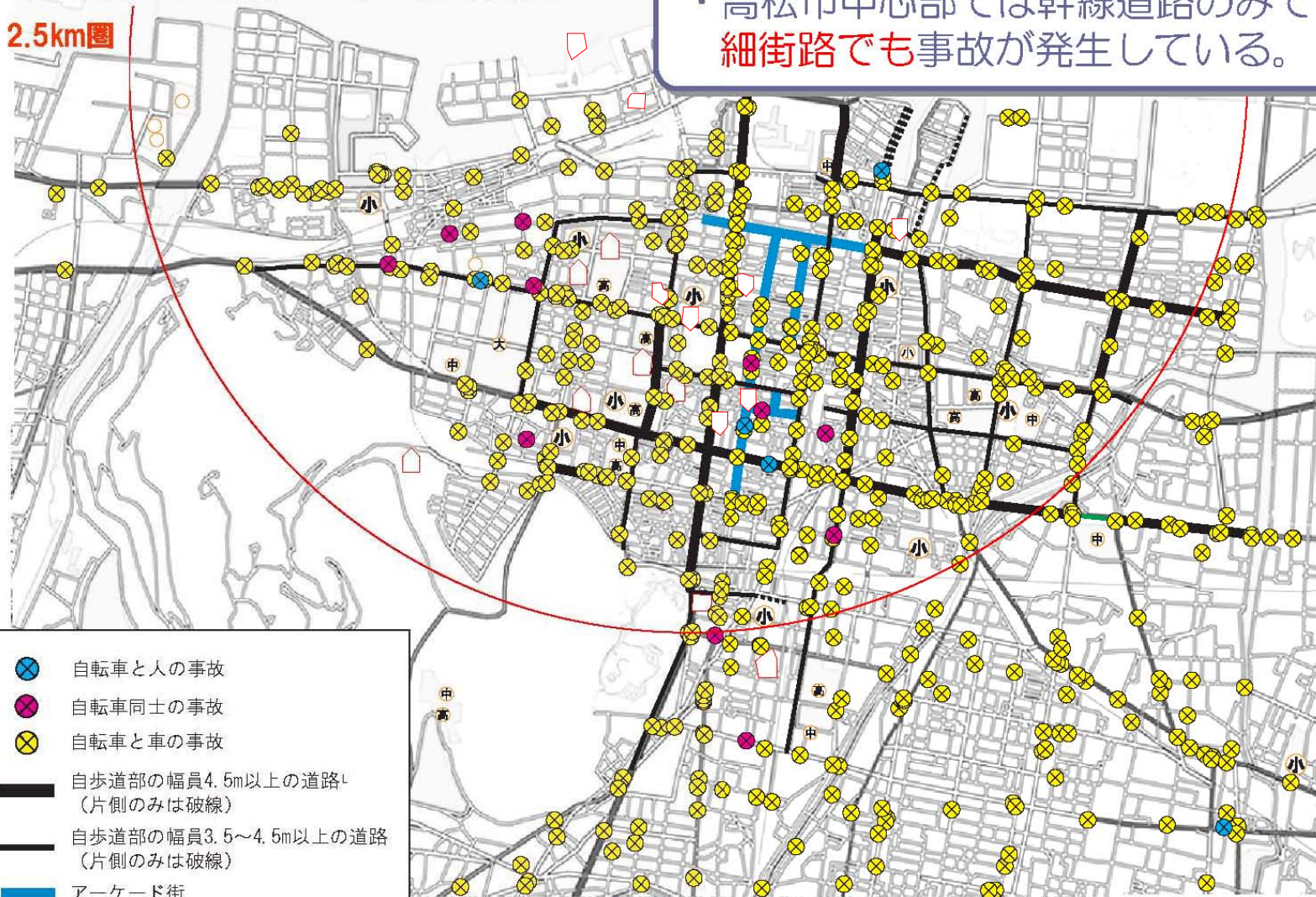


課題3 自転車事故の増加

◆高松市中心部では細街路でも事故が発生

■事故発生箇所(H18)【高松市】

2.5km圏



・高松市中心部では幹線道路のみでなく、**細街路**でも事故が発生している。

- 自転車と人の事故
- 自転車同士の事故
- 自転車と車の事故
- 自歩道部の幅員4.5m以上の道路
(片側のみは破線)
- 自歩道部の幅員3.5~4.5m以上の道路
(片側のみは破線)
- アーケード街

資料:香川県警本部提供



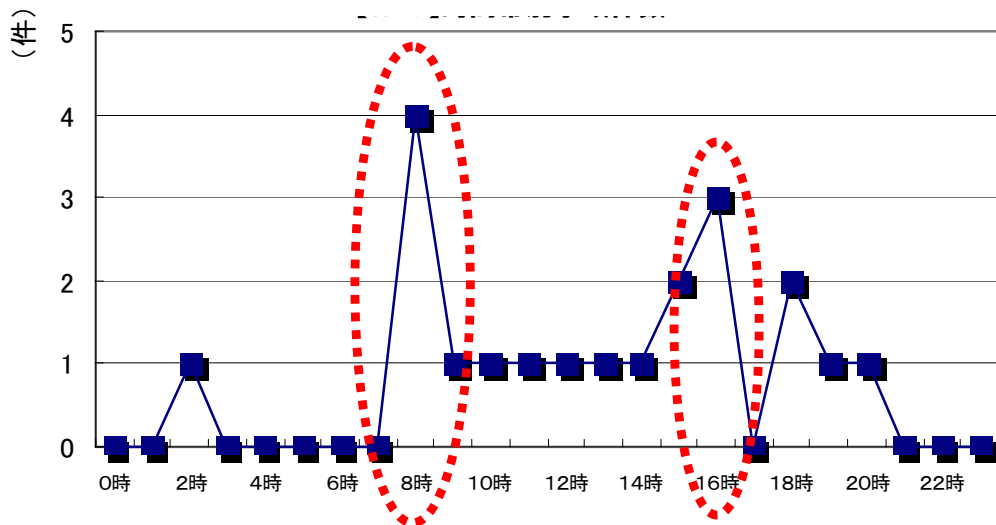
課題3 自転車事故の増加

◆朝・夕のラッシュ時に事故が多発

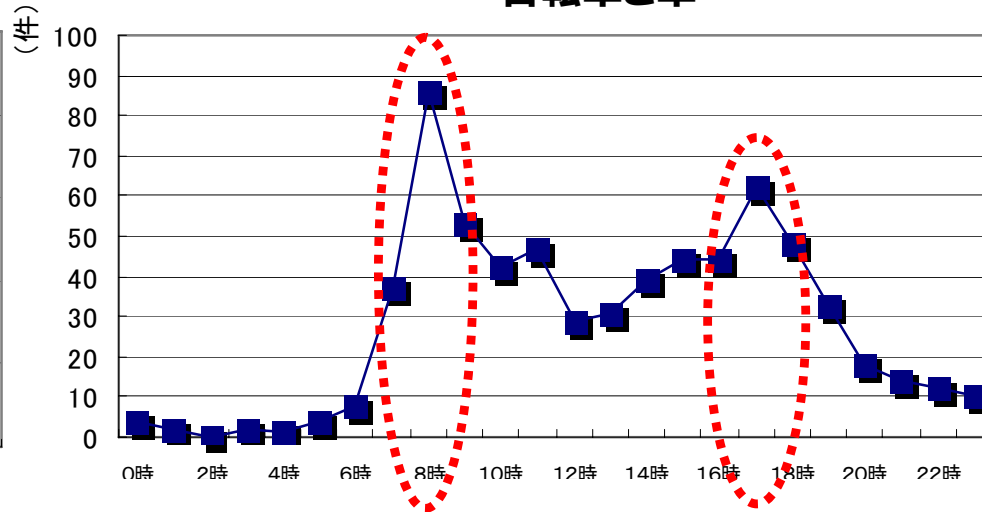
- ・ 自転車同士・自転車と歩行者の事故、自転車と車の事故ともに、朝・夕のラッシュ時に多く発生している。

■事故発生時間(H18)【高松市中心部】

自転車同士・自転車と歩行者



自転車と車



※高松北署管内のデータのみを集計

資料:香川県警本部提供



課題3 自転車事故の増加

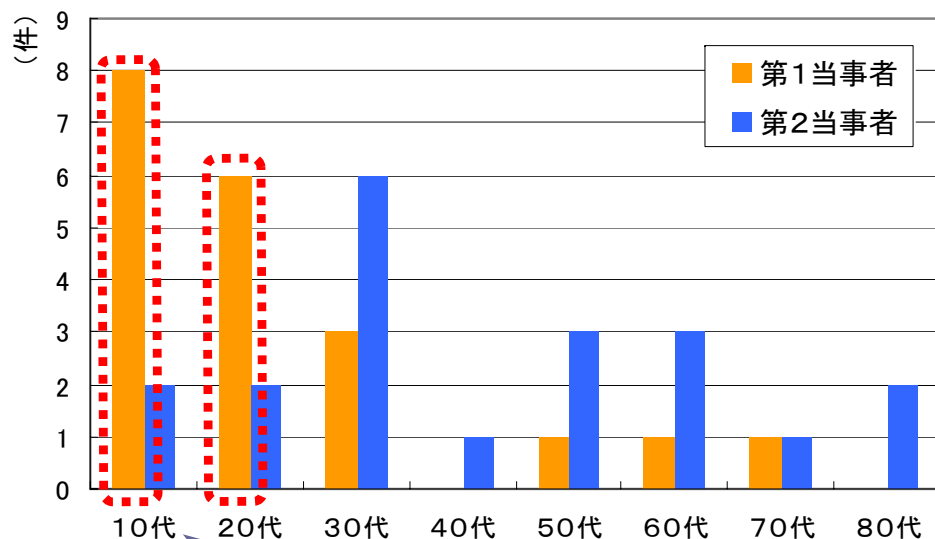
◆事故は若年層に多い

- ・ 自転車同士・自転車と歩行者の事故の加害者は10代・20代が多い。
- ・ 自転車と車の事故の被害者は10代が多い。

■当事者の年齢(H18) 【高松市中心部】

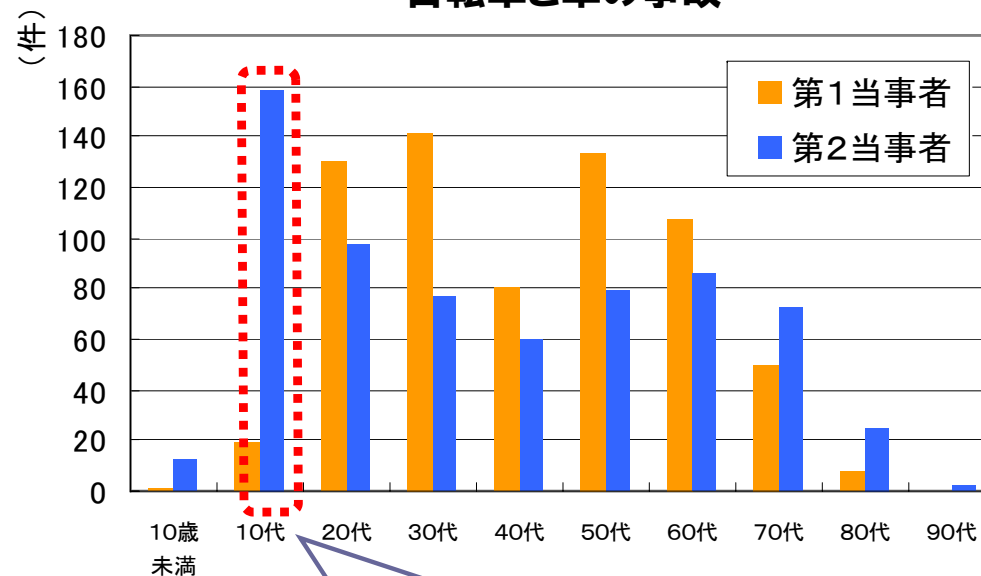
資料:香川県警本部提供

自転車同士・自転車と歩行者の事故



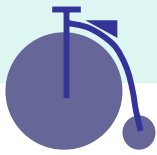
加害者のほとんどが10代・20代。

自転車と車の事故



被害者は10代が最も多い。

※高松北署管内のデータのみを集計

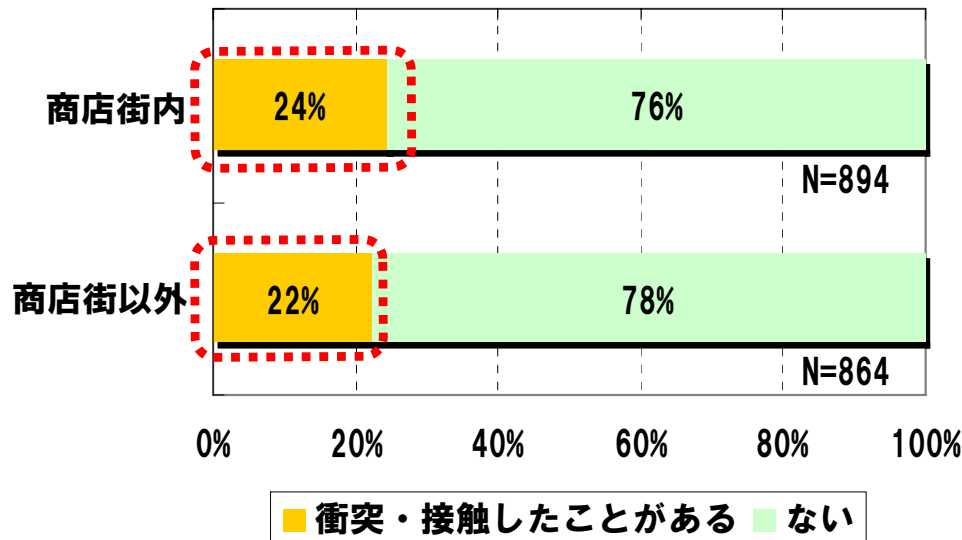


課題3 自転車事故の増加

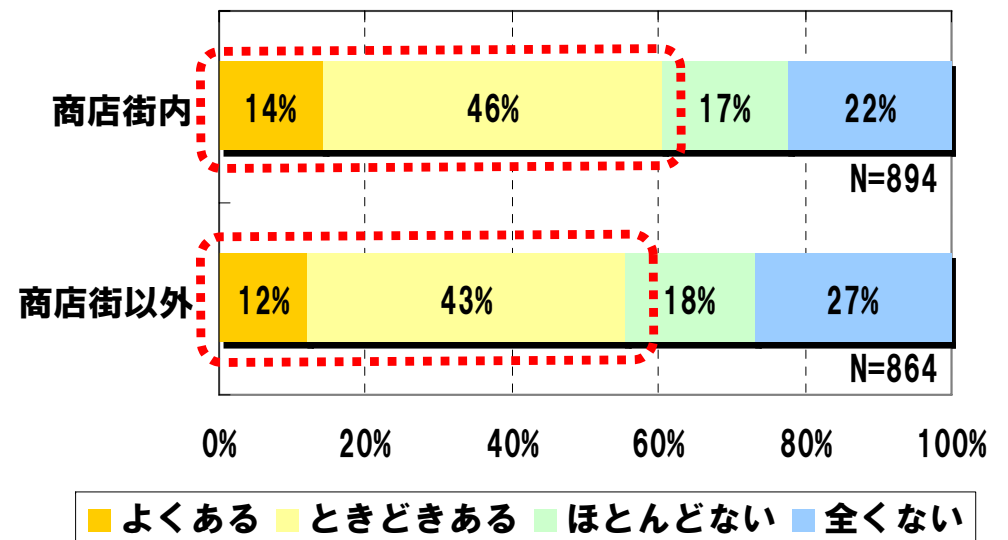
◆自転車利用者・歩行者の約6割はぶつかりそうになったことがある

・商店街内、商店街以外ともに4人に1人は事故の経験があり、約6割はぶつかりそうになったことがある。

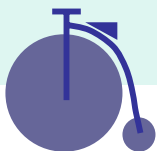
■歩行者・自転車との事故の経験



■歩行者・自転車とのヒヤリ経験



資料: 自転車利用に関するアンケート調査 (H19. 5)

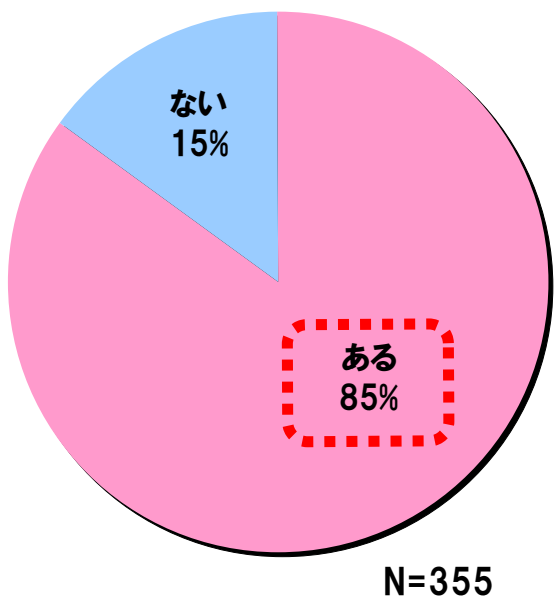


課題4 自転車利用のマナーが悪い

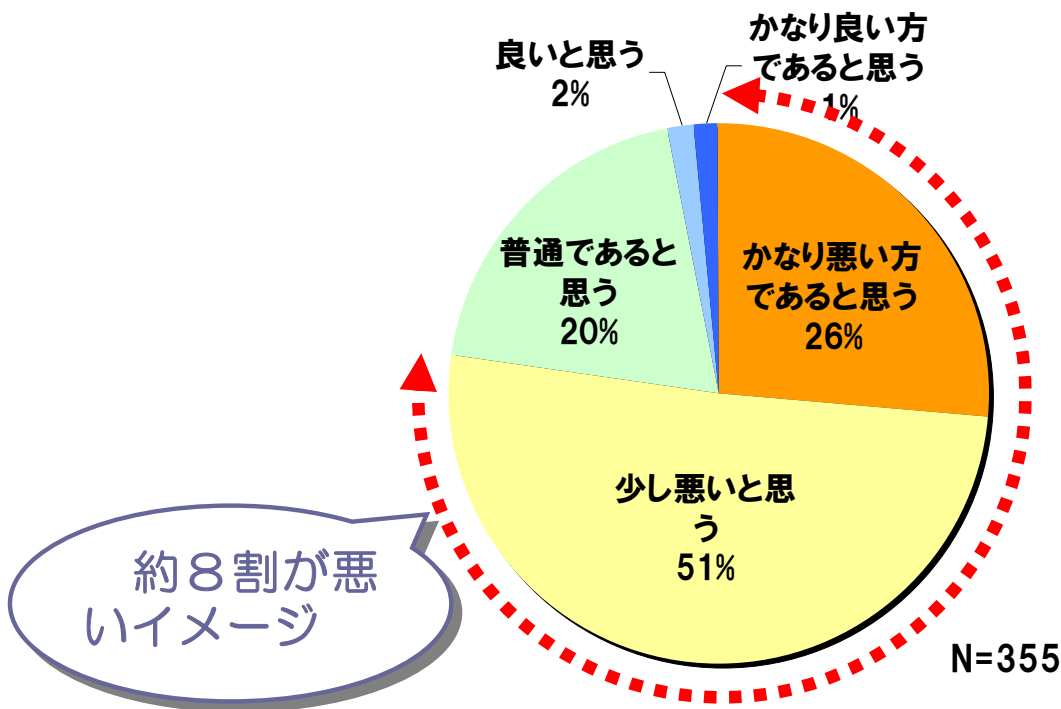
◇無謀な運転(並進走行、無灯火、信号無視など)

- ・ 85%の人が自転車乗車中に危険な目に遭っており、香川県の自転車マナーについても約8割が悪いと思っている。

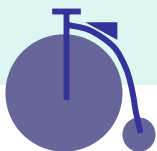
■自転車乗車中に危険な目に遭った経験【香川県】



■香川県の自転車マナーのイメージ【香川県】



資料: 県政モニターアンケート「香川県の交通安全意識等について」(香川県/H18)

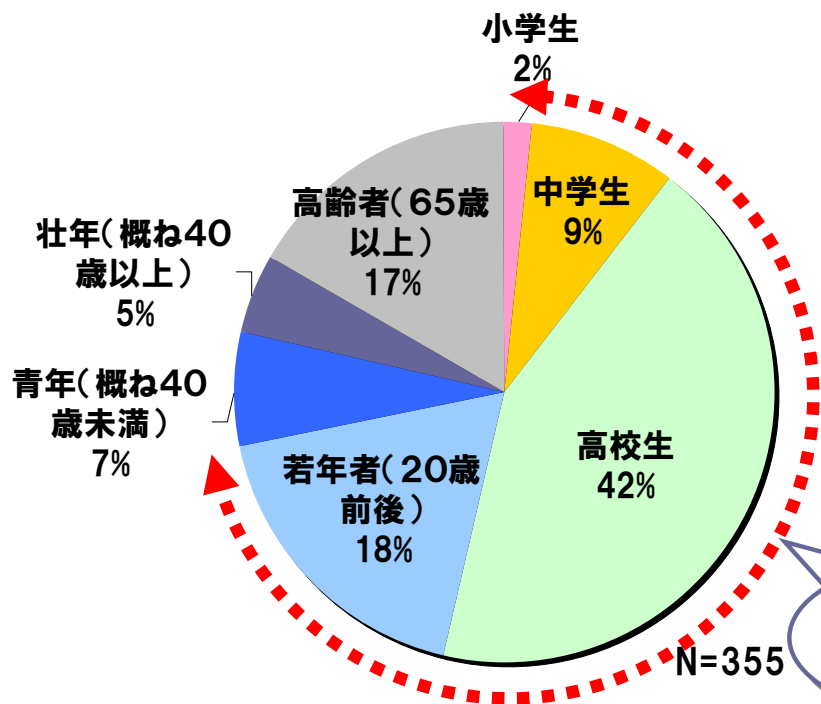


課題4 自転車利用のマナーが悪い

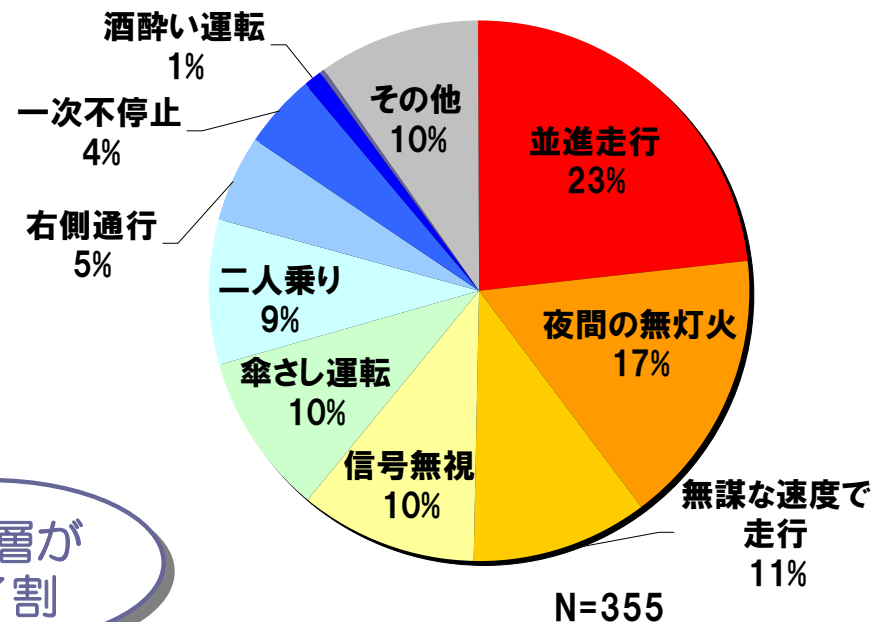
◇無謀な運転(並進走行、無灯火、信号無視など)

- ・ マナーの悪さが目に付く年齢層は若年層が約7割を占めている。
- ・ 目に付く行為は並進走行(23%)、夜間の無灯火(17%)等。

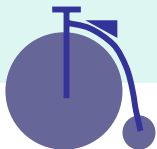
■マナーが悪い年齢層【香川県】



■特に目に付く行為【香川県】



資料: 県政モニターアンケート「香川県の交通安全意識等について」(香川県/H18)

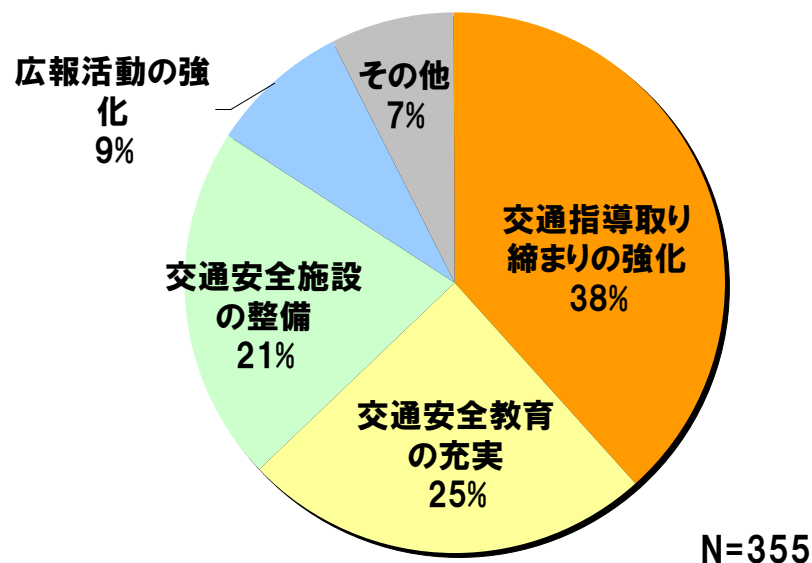


課題4 自転車利用のマナーが悪い

◇無謀な運転(並進走行、無灯火、信号無視など)

- ・マナーを良くする方法としては、**取り締まりの強化** (38%)、**教育の充実** (25%) 等が求められている。

■マナーを良くする方法【香川県】



資料: 県政モニターアンケート「香川県の交通安全意識等について」(香川県/H18)

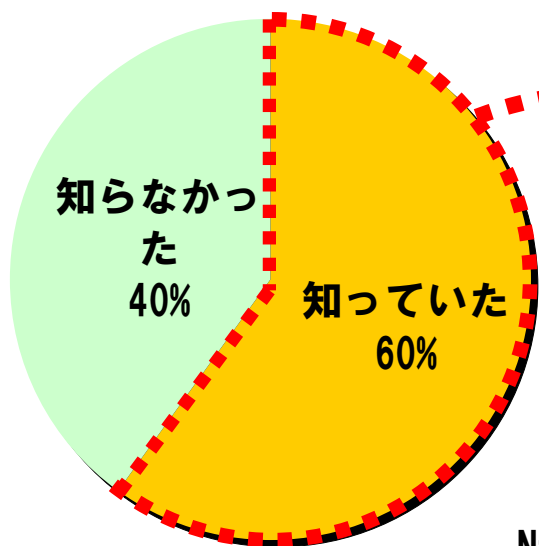


課題4 自転車利用のマナーが悪い

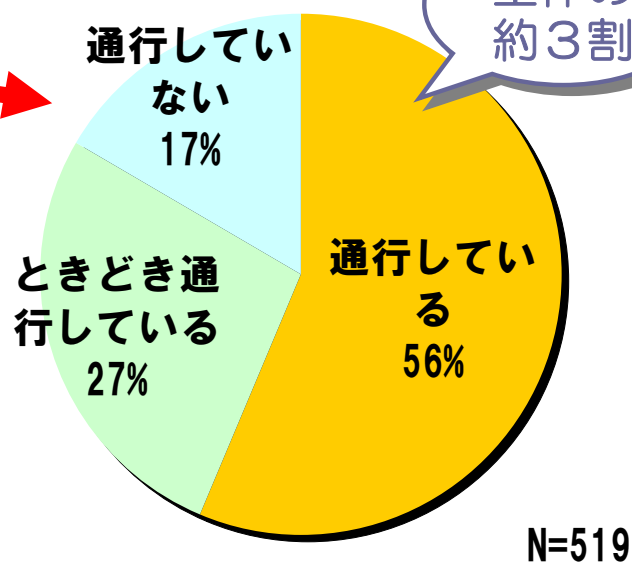
◇利用ルールが守られず、混在する交通

・ 6割は自転車走行空間と歩行者走行空間の区別を認知しているが、表示に従って走行しているの全体の約3割。

■自転車空間と歩行者空間の区別の認知度【高松市中心部】



■表示に従って走行しているか【高松市中心部】

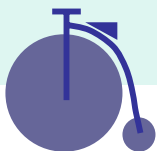


■歩行者空間を走行する自転車【高松市】



歩行者空間 自転車空間

資料: 自転車利用に関するアンケート調査(H19. 5)



課題4 自転車利用のマナーが悪い

◇利用ルールが守られず、混在する交通

- ・高松市中心部の商店街（丸亀町商店街、南新町商店街、トキワ街商店街）では、土日の午後は自転車の乗入が禁止されているにもかかわらず、商店街に進入する自転車が存在する。

■規制時間中に商店街進入する自転車 【高松市】



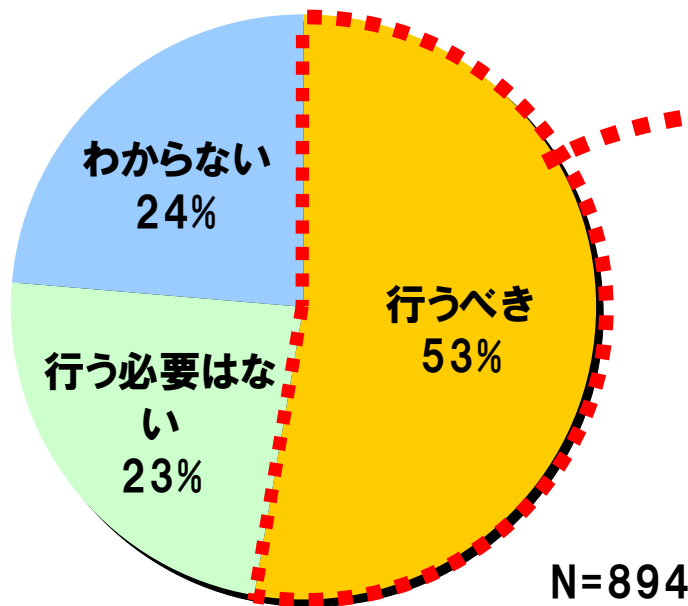


課題4 自転車利用のマナーが悪い

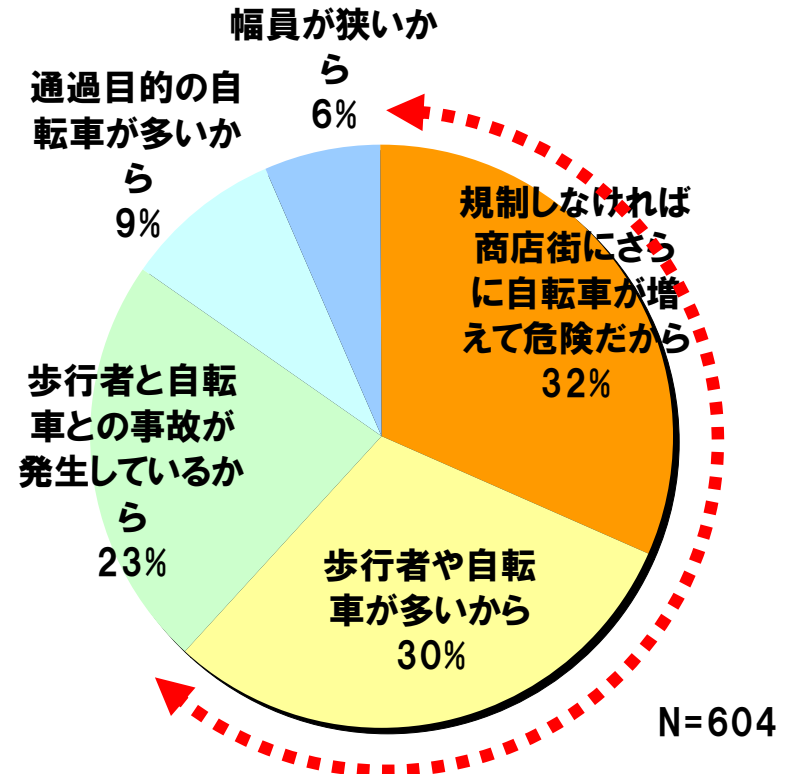
◆自転車利用者・歩行者の過半数が規制を行うべきと回答

・商店街内の自転車通行規制を行うべきという意見が過半数。そのうち約6割が通行者の多さを理由に挙げている。

■商店街の自転車の通行規制について【商店街内】



■規制を行うべきだと考える理由【商店街内】



資料: 自転車利用に関するアンケート調査(H19.5)



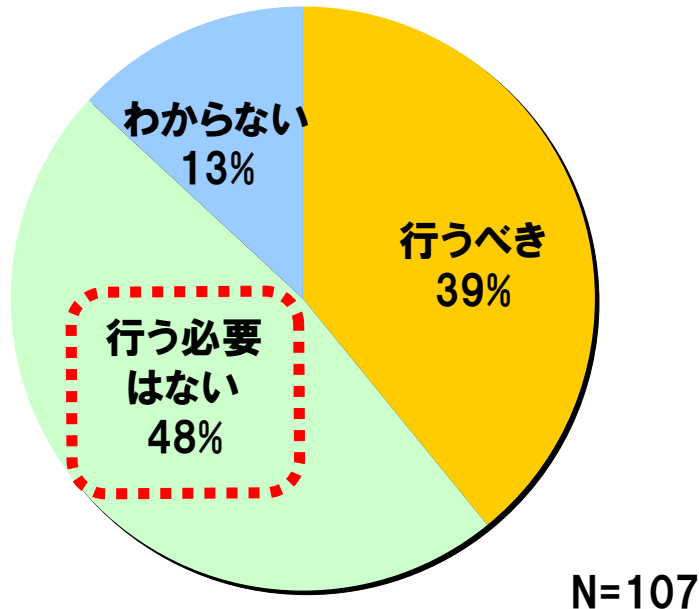
課題4 自転車利用のマナーが悪い

◆店主の約半分が規制を行うべきではないと回答

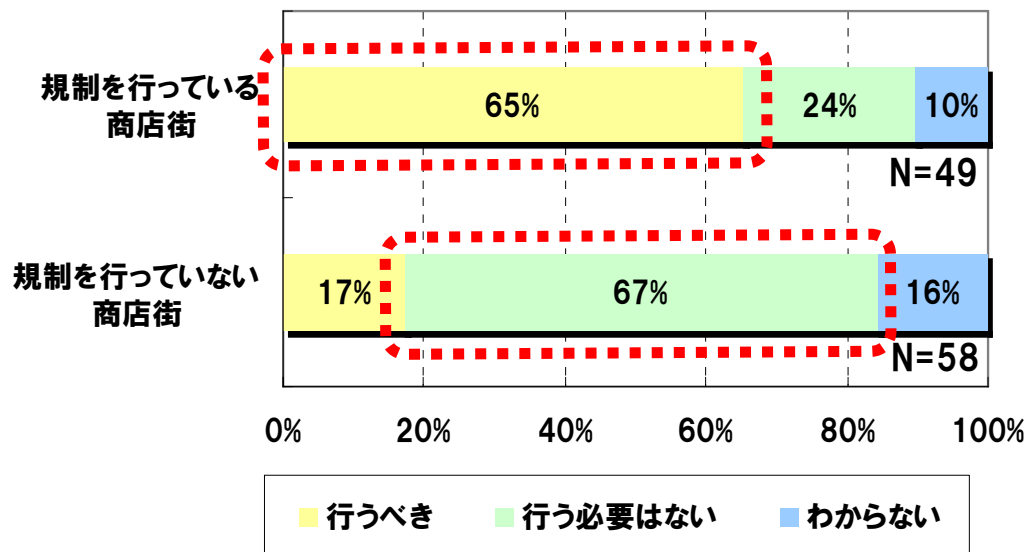
- ・ 商店街内の自転車通行規制を行う必要はないという意見が約半数。
- ・ 現在規制を行っている商店街では「行うべき」、行っていない商店街では「行う必要はない」と、規制の実施状況によって傾向が異なる。

■商店街の自転車の通行規制について【商店街内】

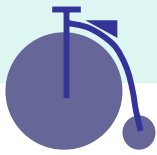
《全体》



《現在の規制実施状況別》



資料: 自転車利用に関するアンケート調査 (H19. 5)



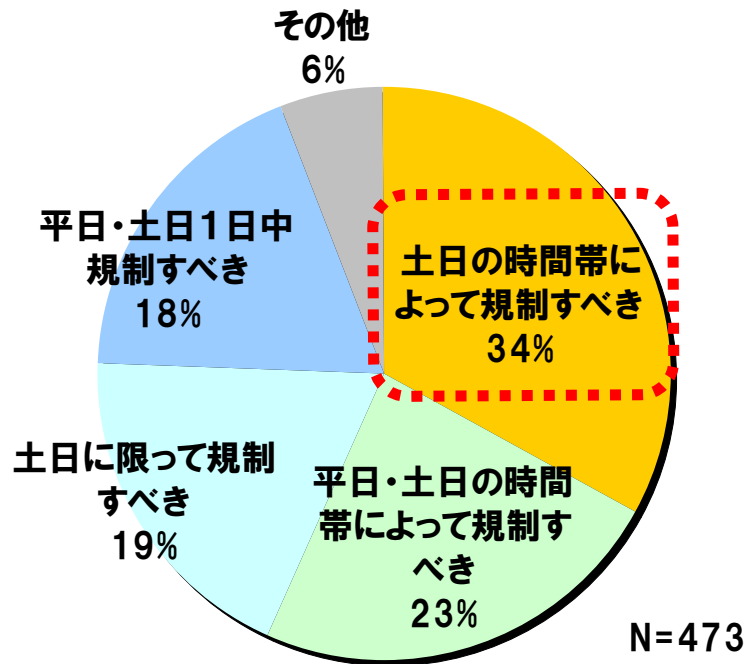
課題4 自転車利用のマナーが悪い

◆土日の時間帯によって規制すべきと回答

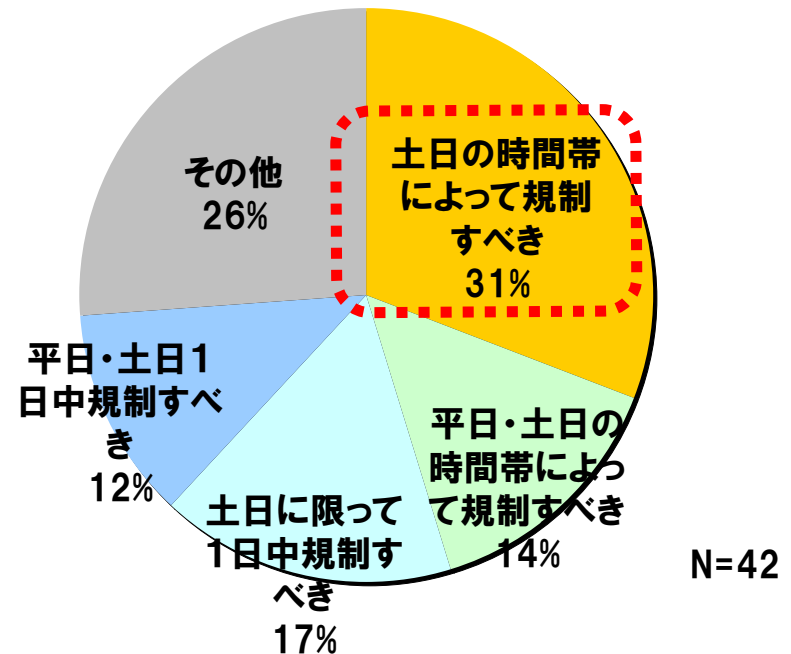
- ・自転車・歩行者、店主ともに、商店街内の自転車通行規制を行う時間帯は「**土日の時間帯によって**」と考えている人が最も多い。

■規制する時間帯について【商店街内】

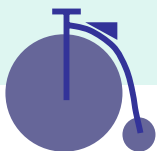
《自転車・歩行者》



《店主》



資料: 自転車利用に関するアンケート調査 (H19. 5)



◇歩道上、商店街周辺の迷惑駐輪

- ・特に高松市中心部では、商店街を中心に駐輪場が不足しており、放置自転車は自転車や歩行者の通行を妨げている。

■違法駐輪の状況【高松市】



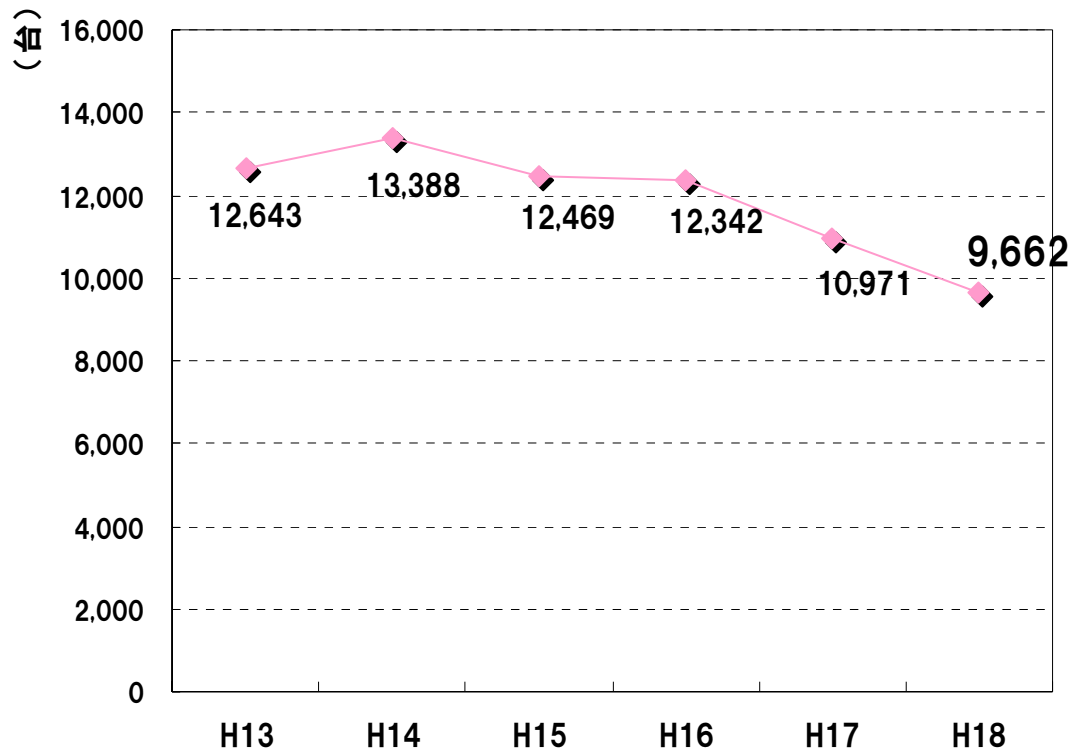


課題4 自転車利用のマナーが悪い

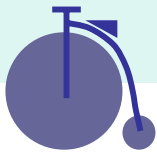
◇歩道上、商店街周辺の迷惑駐輪

- ・高松市の放置自転車撤去台数は近年減少しているが、年間約10,000台が撤去されている。

■高松市の放置自転車撤去台数【高松市】



資料:高松市提供

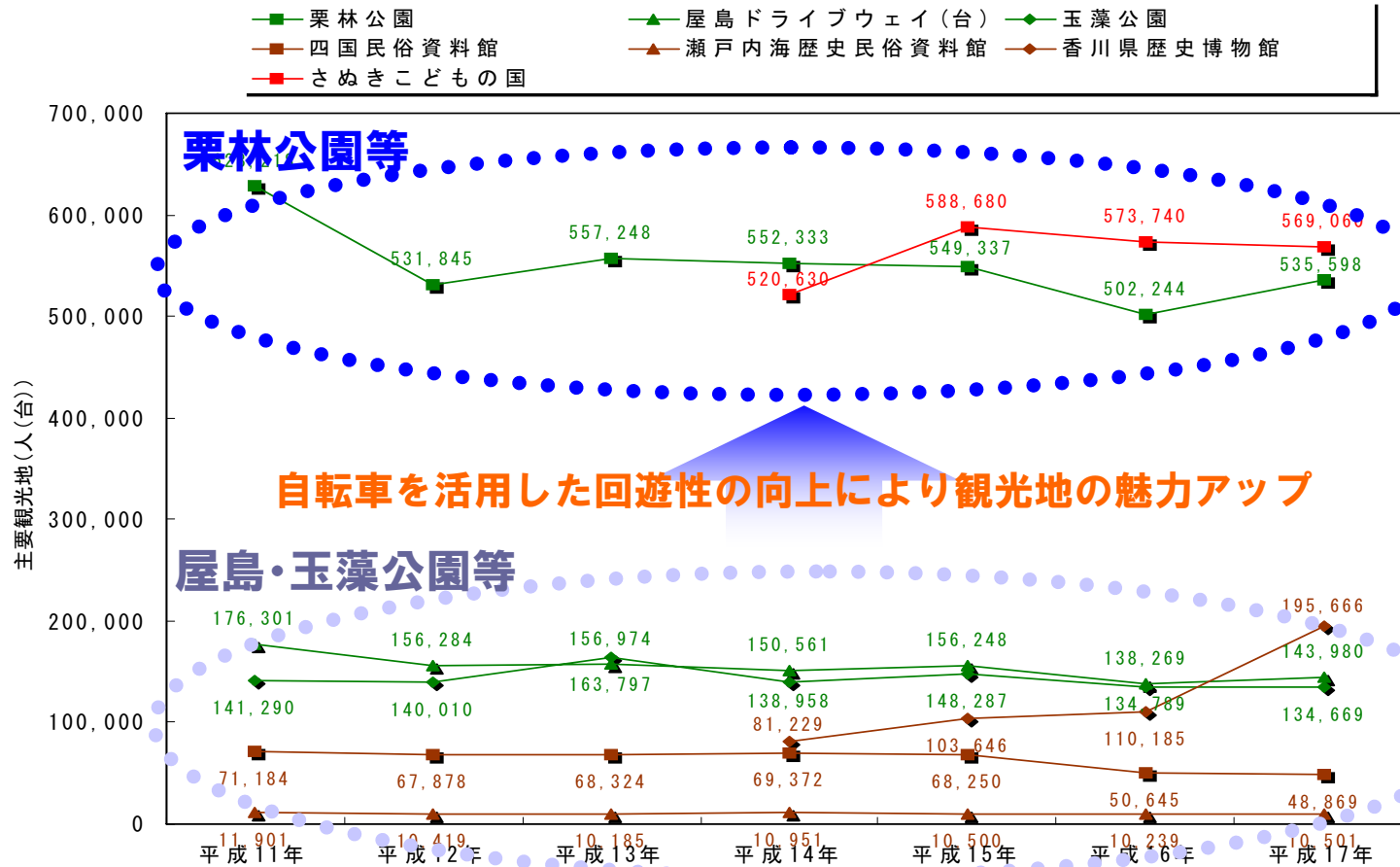


参考

◇観光客数の伸び悩み

・栗林公園の入り込み客数が50万人に対し、屋島や玉藻公園など瀬戸内沿岸の観光資源の集客力が低い。

■観光客数の推移【香川県】



自転車を活用した回遊性の向上により観光地の魅力アップ

資料: 四国の主要観光地入込状況について(四国運輸局)



参考

◇観光客増に向けた主要観光地の新たな取り組み

- ・新屋島水族館のリニューアルオープンにあわせ、ことでん屋島駅からシャトルバスを運行。
- ・栗林公園内駐車場オープンにあわせ周辺の自転車歩行者道を整備。

■屋島水族館



資料:新屋島水族館

■栗林公園

《自転車歩行者道整備状況》



《駐車場整備イメージ図》



資料:香川県HP



参考

◇讃岐の食文化うどんをめぐる自転車の活用

・うどんマップの発行。うどんを食べたい割合は82.6%で四国内第1位。

■うどんマップ



■四国の代表的な食べ物「食べたい」と答えた割合

(徳島県)	(香川県)	(愛媛県)	(高知県)
徳島ラーメン	さぬきうどん	伊予柑	かつおのたたき
77.5%	82.6%	75.2%	76.4%

資料:香川県観光協会HP

(回答者数:5,590人)

資料:ウェルカム四国HP

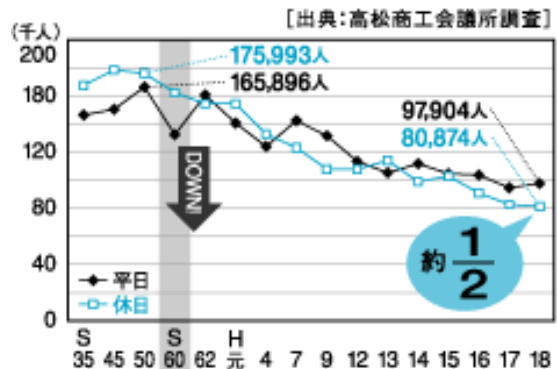


参考

◇高松丸亀町再開発ビルオープン 中心市街地活性化に期待

- ・郊外型大型店舗の進出により、丸亀町商店街の通行量が減少
- ・再開発や各種イベントなど、再生に向けた取り組みが始動
- ・迷惑駐輪・放置自転車対策として四国初の全自動地下立体駐輪場を設置

■丸亀町商店街の年総通行量の推移



資料:丸亀町商店街HP

■高松市丸亀町再開発ビル(H18.11.3オープン)



資料:高松市HP

■四国初の地下立体駐輪場

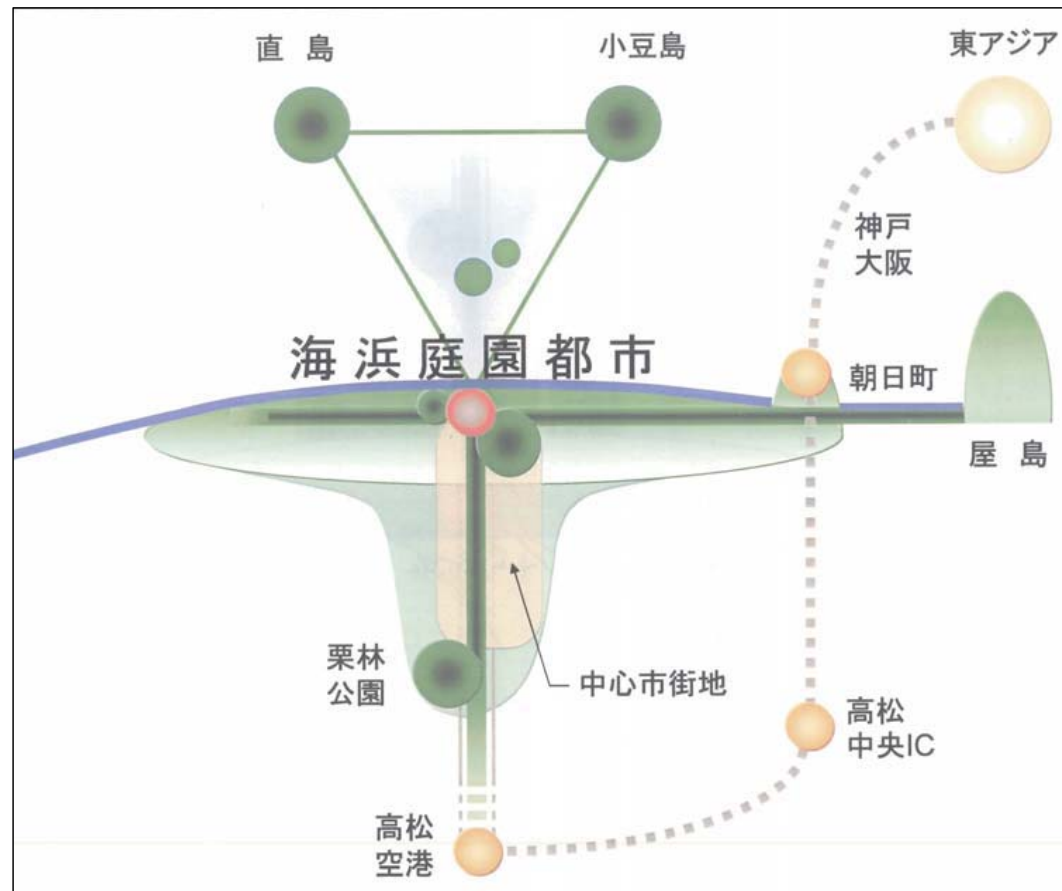




◇海浜公園都市構想

- ・高松港と内陸部の栗林公園、玉藻公園を結ぶ、自転車ネットワーク構想として海浜庭園都市構想を検討中。

■海浜公園都市構想



資料:香川大土井研究室